

- 4 よくあてはまる      3 ややあてはまる  
 2 あまりあてはまらない   1 まったくあてはまらない

全体平均

教職員	保護者	中学生	小学生	地域
96	92	91	99	98
7月	7月	7月	7月	7月

領域	番号	項目	質問内容	7月	7月	7月	7月	7月
学校経営	1	教育目標	学校は、「笑顔いっぱい」～ 気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる ～ という教育目標を達成している	100	100	100	100	100
	2	学校の雰囲気	学校は、明るく楽しい雰囲気である	100	88	100	100	100
	3	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している	88	/	/	/	/
	4	業務の改善	教職員(私は)、校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している	88	/	/	/	/
心の教育	5	生活・生徒指導	児童生徒は、ルールやマナーを身に付けている	88	88	100	90	100
	6	生活・生徒指導	児童生徒は、よくあいさつをしている	88	88	100	100	90
	7	生活・生徒指導	児童生徒は、「あ・は・は 運動」を心がけて行動している(小学校のみ)	100	86	/	100	/
	8	生活・生徒指導	教職員(私)は、児童生徒の悩みや相談に親身に対応している	100	88	100	100	100
	9	いじめ防止対策	学校は、いじめ防止のための対策をとっている	88	86	75	100	100
	10	人権教育	児童生徒は、生命や人権を尊重しようとする心が育っている	100	100	100	100	100
	11	平和教育	児童生徒は、平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100	100	100	100	100
	12	特別支援教育	教職員(私)は、児童生徒の教育的ニーズに応じた指導を行っている	100	86	100	100	/
確かな学力	13	特色ある学校づくり	教職員(私)は、伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	100	88	75	100	100
	14	学習指導・教育課程	教職員(私)は、わかりやすい授業を行っている	100	100	100	100	/
	15	学習指導・教育課程	教職員(私)は、家庭学習の習慣が身に付くような指導を行っている。	100	100	50	90	/
	16	キャリア教育	教職員(私)は、児童生徒の将来の自立に向けて適切に指導している	100	86	100	/	/
	17	キャリア教育	長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	/	/	100	100	/
健やかな体	18	保健・衛生	教職員(私)は、衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	100	100	75	100	100
	19	体力向上	児童生徒は、早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	88	100	75	100	/
	20	体力向上	教職員(私)は、児童生徒の体力向上に努めている	100	88	100	100	/
	21	食育	教職員(私)は、食に関する教育活動を行っている	100	88	100	100	/
信頼される学校	22	安全管理	教職員(私)は、児童生徒の安全に気を配っている	100	88	75	100	100
	23	情報提供	学校の状況は、通信やホームページ等で知らせている	88	100	/	/	90
	24	PTA・地域との連携	学校は、PTA や地域との連携がとれている	100	88	/	/	100
	25	職員資質向上	研修が充実し、教職員の資質が向上している	100	/	/	/	/
教育環境	26	環境整備	学校は、教育環境が充実し、整備されている	75	88	100	100	89
	27	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる	100	/	/	/	/

第1回高島小中学校学校評価アンケートの学校評価自由記述に関して、次の内容についてご意見をいただきました。2学期以降の具体的対応案を記載しています。ご確認ください。

○イノシシ対策として、門にネットをはっているが、こけてけがをしてる子もいるので、ちゃんとした門をつけてほしい。

⇒昨年度来、市教育委員会施設課に、子供たちの安全が図れるよう門扉の設置等、何度も依頼を行っています。しかしながら予算の関係もあり、なかなか進んでいない状態です。しばらくはネットでの対策を継続することになりますが、子供たちへは、ネットであろうが門扉であろうが、周りを確認し安全に登下校できるよう指導を行っていきます。

○体育館のトイレを借りたら、めちゃくちゃ猫のにおいがひどかった。猫対策をしてほしい。

⇒本校では、体育館トイレを含め、計画的な清掃を全校で行っています。本島には島の人口と同程度の猫が住み着いており、校舎内への侵入は許していませんが、学校敷地内への侵入を防ぐことは実質難しい状況です。体育館トイレは締め切ることが難しいですが、猫忌避剤等を用いた対策を今後検討していきます。

○もう少し、子供たち一人一人に向き合ってほしい。

⇒本校は極小規模校で、子供たちと教職員がコミュニケーションを図る機会も他校と比較して各段に多い状況です。子供たちの表情や様子がいつもと違えばすぐ声をかけたり、相談に乗ったり、保護者に連絡を入れたりしています。また、定期的な教育相談や生活・生徒指導面では、月1回の生活・生徒指導アンケートを行い、その月の子供たちの生活面や心の状況を把握しています。今後も現状のきめ細かな対応を継続していきます。

○生徒たちの言葉遣いが悪いと思う(下級生から上級生への言葉遣い又上級生から下級生への言葉遣い)名前ではなく(お前)はどうかと思う。(特に小学生)

⇒小規模校特有の、幼少期からメンバーが変わらず、兄弟のように過ごしてきたことでの一面であると考えます。本校では、そのような場面が見られた際には、個人にはもとより全体にも話をし、言葉の大切さを適宜指導しています。2学期からは、生活・生徒指導部で、全校生徒で言われてうれしい言葉を掲示するなどの取組を行い、よりよい言葉使いとなるよう継続して指導していきます。

○給食を残していいというのはどうかと思う。(時間内に食べないといけないのは分かるが過ぎて食べさせるべき)必要な栄養(献立表のカロリー)が残すということは、とれていないのでは?

⇒学校では、「食育基本法」及び「学校給食法」に則り、食に関する指導を日々実践、子供たちの心身の健全な発達を促進しています。できれば、全員に好き嫌いなく、年齢相応の分量を完食させたいですが、昨今の「食の飽和状態」で給食の食材や味等に親しみがなく食が進まない児童・生徒がいることも事実です。昨年度、給食指導により、学校への登校渋りが散見されたこともあり、今年度は、【まずは、自分が食べきれる分量をしっかりと食べきる】という指導を行っています。これにより給食が原因と思われる登校渋りは見られなくなりました。2学期からは、好き嫌いなく、年齢相応の分量の完食を目指し、給食に対する不安を抱いている児童生徒の保護者及び全教職員と情報共有と共通理解を今まで以上に行います。さらに、給食の重要性について月に1度担当から講話を行います。また、食の指導は、学校給食だけでできるものではないので、今後も、家庭と連携しつつ子供たちの心身の発達を育てていきます。